

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成29年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間 (4月～3月)

施設名	秋川キララホール	指定管理者	秋川キララホール運営共同事業体
指定期間	平成25年4月1日から 平成30年3月31日まで	担当課	生涯学習推進課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	306	306	100.0%	
	延べ利用者数 (人)	68,551	72,164	105.3%	
	事業開催 回数	必須事業 (回) (=主催事業)	8	8	100.0%
		自主事業 (回)	7	7	100.0%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	69,049,000	69,049,000	100.0%
		利用料金収入 (円)	20,400,000	20,836,100	102.1%
		主催事業収入 (円)	14,597,000	11,782,315	80.7%
		自主事業等収入 (円)	10,570,000	10,119,604	95.7%
		共催事業収入 (円)	263,000	2,511,200	954.8%
		その他の収入 (円)	449,000	2,613,462	582.1%
	収入計 (円)		115,328,000	116,911,681	101.4%
	支出	人件費 (円)	41,984,000	34,830,188	83.0%
		施設維持管理費 (円)	31,034,000	27,304,914	88.0%
		運営管理費 (円)	26,949,000	26,509,640	98.4%
		自主事業関係費 (円)	15,361,000	18,982,204	123.6%
		その他の支出 (円)	-	-	-
	支出計 (円)		115,328,000	107,626,946	93.3%
収支 (収入-支出) (円)		0	9,284,735	-	

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

<p>【開館日数・利用者数について】 一年を通し、計画どおり開館しました。利用者数については、計画に対し 3,600 人ほど増加しました。</p>	<p>【事業の実施状況について】 主催事業はクラシック 8 件、自主事業は雅楽を 1 件、昭和歌謡 1 件、落語 2 件、ポップスを 1 件、お笑いを 1 件、J A Z Z を 1 件、実施しました。支援育成事業は 7 件実施し、うち、4 件はワークショップを行いました。まちづくり推進事業は 8 件、地域育成事業を 1 件実施したほか、市民参画事業としてアウトリーチを 2 件行いました。</p>	<p>【収支状況について】 利用料金収入は 102.1%と計画値を上回りましたが、事業収入は主催事業の券売が厳しい結果となりました。共催事業収入の計画比が 954.8%となったのは、「東京大衆歌謡楽団コンサート」と「よしもとお笑い公演」を開催したためです。その他収入が 582.1%となったのは、人員増員代 1,176,120 円、友の会会費 890,000 円等の収入があったためです。</p>
---	--	--

所管課の評価 (指摘事項)

<p>【開館日数・利用者数について】 今年度も年間計画どおりに開館することができました。利用者数については計画を上回り、過去 5 年間で平成 27 年度に次いで、2 番目の値であることは、評価できます。</p>	<p>【事業の実施状況について】 計画どおりに主催・自主事業に取り組んでいます。加えて、実施内容も多岐に渡るものであり、市民のニーズに広く対応していると評価できます。また、今年度もまちづくり推進事業、支援育成事業、市民参画事業などにも積極的に取り組み、良好な実施状況です。</p>	<p>【収支状況について】 利用料金収入が昨年比で約 221 万円増となっていることは評価できます。ただし、今年度も主催事業の収入向上が課題となっているため、広報宣伝活動の強化等、引き続き集客に向けた対策を期待します。</p>
---	--	---

2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	クレーム処理報告書、アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	ワンストップサービスの提供等により、施設利用者の満足度向上や利用拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	13人 人員配置計画、実地、出勤簿	14人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	2回/年 研修マニュアル	実施回数2回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者の雇用促進に努めている	3人 人員配置計画	3人 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	実地、出勤簿	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
事業の取組	主催事業・自主事業等の実施により、文化芸術の振興に努めている	事業報告書、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	市民音楽団体等への支援・育成事業の実施により、音楽によるまちづくりの推進に努めている	事業報告書、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	市民ボランティア等との協働により音楽によるまちづくりの推進に努めている	事業報告書、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	市民参画事業（市民合唱団等）の実施により、市民の手による文化芸術の振興に努めている	事業報告書、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	会員制度等を活用し、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
--------	---	----------	--------	--------

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
<ul style="list-style-type: none"> ・メールマガジンや本社マネージャーブログを活用し、キララホールの取組みについて定期的な情報発信を行いました。また、協力員と連携し、事業のポスターの掲示を実施したほか、新聞広告や駅貼りポスター等を活用し事業の広報活動に努めました。 ・まちづくり推進事業として、レジデンシャル・アーティスト関裕子氏による名曲コンサートを開催したほか、昭和音楽大学と連携した音楽生涯学習講座を初めて実施しました。また、2月に開催されたモーツァルト「レクイエム」公演ではレジデンシャル・アーティスト橋本夏季氏・キララ合唱団が東京交響楽団との共演を果たし、地域の支援育成事業としても実りある公演となりました。 ・アウトリーチの取組みとして、8月にヨルイチミニコンサートを実施したほか、鈴木大介氏（ギター）によるコンサートを特別養護老人ホーム麦久保園（あきる野市草花）において開催し、地域と連携した事業を実施しました。 ・あきる野ルピアと連携し、子ども向けのワークショップを開催したほか、平成29年度で3回目となる小・中・高・一般団体が出演するアンサンブルコンサートを開催しました。 ・使用料収入は昨年度よりも増加となりましたが、主催事業収入が昨年度よりも落ち込みました。来年度は広報宣伝活動や地域連携をより一層強化し、情報発信と地域ニーズに応えられるように努力してまいります。
所管課による所見（指摘事項など）
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の周知について、今年度も様々な広報・宣伝活動に取り組んでいることが伺えます。今後も効果的なチケット販売に結びつくよう、新規の宣伝方法を開拓する等、積極的なPR活動を重ねてお願いします。 ・まちづくり推進事業として、今年度は新たに音楽生涯学習講座が実施され、市内の音楽文化の創出に貢献が図られています。また、実施事業からレジデンシャル・アーティストの活躍も伺え、市内の音楽家の成長に繋がっていると評価できます。 ・アウトリーチやワークショップが積極的に実施されており、音楽ホールを訪れにくい世代への音楽鑑賞の機会の提供がなされています。また、市民が気軽に訪れることのできるホールづくりへ繋がっていると考えられます。来期も地域との連携力を生かした事業の展開や、広報宣伝活動を期待します。